

飯田市立病院改革プランの点検評価

平成 23 年 8 月 26 日

飯田市立病院

1 はじめに

「飯田市立病院改革プラン」については、平成 21 年 2 月 26 日に飯田市議会へ報告し、ホームページ等により公表を行いました。また、点検評価については、平成 22 年 5 月に市議会全員協議会にて報告をし、ホームページ等でも公表しています。今回は平成 22 年度決算に基づき、改革プランの点検評価を行うものです。

平成 22 年度の決算は、平成 22 年 4 月の診療報酬改定が 10 年ぶりのプラス改定（+0.19%）となり、急性期病院を中心に見直しが行われたこともあり、経常利益が 5 億 6 百万円と、平成 21 年度に引続き黒字となりました。

また、平成 21 年度決算に基づき、全国的に経営改善が図られた病院の中から、当院が改善事例として総務省の公立病院経営事例等実務研究会に取り上げられ、その内容が公表されました。（http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/42773.html）

一方、来年度に予定されている診療報酬の改定や東日本大震災による影響など不透明な部分も多く、中長期的には、社会保障費の増大、国や地方自治体の財政悪化など医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。更に、医療圏における当院の役割が拡大する中、医療水準を維持・向上させるため施設の増改築や医療スタッフの増員が不可欠な状況にあり、そのための投資等も必要なことから、まだまだ予断を許さない状況にあるものと考えます。

将来を見据え、当地域に必要なかつ良質な医療を確保するとともに、安定した経営基盤を確立するため、更なる経営改善の取組と医療の質向上に努めていきます。

2 平成 22 年度決算状況

市立病院改革プランで目標としていた経常収支の黒字を、平成 22 年度においても達成することが出来ました。また、当初定めた財務に係わる数値目標や医療機能に係わる数値目標についても達成することができています。

当地域にとって必要な救急医療や産科医療、高度医療、がん医療などに積極的に取り組み、また患者中心の医療の実践や医療体制の充実を図ってきたことが、当院の信頼性や病床利用率の向上につながり収益の改善に結びついたものと考えます。

平成 22 年度の決算状況について概要を説明します。

入院収益及び外来収益の合計額は約 101 億 2 千万円となり、前年度より約 7 億 6 千万円の増額となりました。入院患者数は 1 日平均 343 人（目標 1 日 340 人）で前年度の 1 日平均 341 人を上回るとともに、年間通して安定した病床利用率が確保できました。

入院・外来の診療単価は、診療報酬のプラス改定による救急医療や手術料の引き上げなど急性期病院への評価が図られたことにより、入院が約 7.7%、外来が約 3.1%の増額となりました。

医業費用については、医師や看護師、医療コメディカル等の増員により人件費が増加していますが、職員給与費対医業収益比率は 0.7 ポイント改善しました。

医業外費用は、企業債支払利息の大幅な減少により約 24%の減となりました。

また、退職給与引当金 1 億 9 千 8 百万円及び修繕引当金 1 億円を引当てたほか、一般会計繰入金について実際の繰入額を減額しています。

その結果、経常利益は 5 億 6 百万円、旧高松分院の資産の除却に伴う特別損失が約 1 億 2 千万円あり、純利益は 3 億 8 千 7 百万円となりました。

なお、平成 23 年度以降については、第 3 次整備事業という大規模増改築事業も控えており、また、中長期的には厳しい状況が予想されます。引き続き安定した経営基盤の構築に向けて経営改善に努めていきます。

【財務に係わる数値目標】

項 目	目 標 値	20年度	21年度	22年度
① 医業収支比率	97%以上	97. 4%	102. 4%	102. 9%
② 経常収支比率	100%を23年度までに達成	98. 7%	103. 2%	104. 6%
③ 職員給与費対医業収益比率	55%以下	53. 1%	52. 2%	51. 5%
④ 年間資金収支	21年度以降プラス	プラス	プラス	プラス
⑤ 病床利用率	87%以上	84. 4%	89. 9%	90. 8%

【医療機能に係わる数値目標】

項 目	目 標 値	20年度	21年度	22年度
① 入院患者数	122,200人	116,541人	124,462人	125,147人

3 その他

医療を取り巻く環境は、社会保障費の増大や大幅な財政赤字、医師や看護師の不足などにより依然として厳しく、また、急速に進む少子高齢化や疾病構造の変化、医療技術の進歩、住民意識など常に変化しています。飯田下伊那の医療圏においては、医師数や病床数が全国平均を下回り、関係機関が連携して医師・看護師等の就職ガイダンスなどの取組を進めていますが、十分な成果とはなっていません。

こうした中、地域住民が安心して暮らすことができる定住自立圏の実現に向け、地域にとって必要かつ良質な医療を的確に提供することは、最も優先度の高い行政課題であると考えます。ついては、圏域内の少ない医療資源を有効に活用して地域医療を充実するために、地域内の病院や診療所、関係機関や地域住民が連携して地域医療の確保に向け地域全体で取組を進める必要があります。

当医療圏においては、以前から、医師会や包括医療協議会が中心となって連携を進めてきた実績があり、休日夜間急患診療所の運営や在宅当番医制度、病院群輪番制、救命救急センターにおける役割分担や連携、産科問題懇談会を中心としたお産を守る取組、大規模災害医療救護体制の整備、住民啓発活動といった先進的な取組を行ってきています。今後も引き続き、病診連携や病病連携、関係機関との連携を一層進めていきたいと考えます。

飯田市立病院としても、この医療連携の中で当院の役割を果たすことができるように取組を進めていきます。飯田下伊那地域の急性期医療を担う中核病院として、患者の視点を重視し、良質な医療の提供と健全経営に努めます。また、第3次整備事業を促進し、地域にとって必要な医療を確保することを最優先に取り組んでいきます。

(別紙1)

団体名 (病院名)	飯田市立病院
--------------	--------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区 分		年 度	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度		23年度 (見込)
						計画	実績	
収 入	1. 医 業 収 益 a		8,629	8,713	10,011	9,328	10,776	10,907
	(1) 料 金 収 入		8,017	8,047	9,355	8,683	10,117	10,262
	(2) そ の 他		612	666	656	645	659	645
	うち他会計負担金		201	253	222	235	229	225
	2. 医 業 外 収 益		808	922	848	835	771	723
	(1) 他会計負担金・補助金		711	821	745	731	637	592
	(2) 国 (県) 補 助 金		40	50	51	50	63	50
	(3) そ の 他		57	51	52	54	71	81
	経 常 収 益 (A)		9,437	9,635	10,859	10,163	11,547	11,630
支 出	1. 医 業 費 用 b		8,781	8,949	9,773	9,564	10,471	10,787
	(1) 職 員 給 与 費 c		4,510	4,628	5,229	5,108	5,549	5,773
	(2) 材 料 費		2,139	2,012	2,307	2,218	2,406	2,470
	(3) 経 費		1,307	1,483	1,492	1,277	1,698	1,717
	(4) 減 価 償 却 費		778	762	691	688	739	770
	(5) そ の 他		47	64	54	273	79	57
	2. 医 業 外 費 用		904	816	751	589	570	597
	(1) 支 払 利 息		440	411	332	204	156	144
	(2) そ の 他		464	405	419	385	414	453
	経 常 費 用 (B)		9,685	9,765	10,524	10,153	11,041	11,384
経 常 損 益 (A)－(B) (C)			-248	-130	335	10	506	246
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)							
	2. 特 別 損 失 (E)		1,073				119	
	特 別 損 益 (D)－(E) (F)		-1,073				-119	
純 損 益 (C)＋(F)			-1,321	-130	335	10	387	246
累 積 欠 損 金 (G)			3,318	2,198	1,863	2,458	1,477	1,231
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)		3,258	3,295	3,969	3,467	4,953	5,508
	流 動 負 債 (イ)		718	700	617	764	653	767
	うち一時借入金							
	翌年度繰越財源(ウ)							
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)							
差引 不良債務 (オ)			-2,540	-2,595	-3,352	-2,703	-4,300	-4,741
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)			102	-55	-757	-81	-948	-441
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$			97.4	98.7	103.2	100.1	104.6	102.2
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$			-29.4	-29.8	-33.5	-29.0	-39.9	-43.5
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$			98.3	97.4	102.4	97.5	102.9	101.1
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$			52.3	53.1	52.2	54.8	51.5	52.9
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)			-2,540	-2,595	-3,352	-2,703	-4,300	-4,741
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$			-29.4	-29.8	-33.5	-29.0	-39.9	-43.5
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率			-	-	-	-	-	-
病 床 利 用 率			88.9	84.4	89.9	88.4	90.8	90.0

団体名 (病院名)	飯田市立病院
--------------	--------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区 分		年 度	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度		23年度 (見込)
						計画	実績	
収 入	1. 企 業 債		324	1,573	3,822	768	745	963
	2. 他 会 計 出 資 金							
	3. 他 会 計 負 担 金		461	397	458	391	375	484
	4. 他 会 計 借 入 金							
	5. 他 会 計 補 助 金							
	6. 国 (県) 補 助 金		11	14	13	6	8	3
	7. そ の 他			2			1	
	収入計 (a)		796	1,986	4,293	1,165	1,129	1,450
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)							
	前年度許可債で当年度借入分 (c)							
支 出	純計(a)－[(b)+(c)] (A)		796	1,986	4,293	1,165	1,129	1,450
	1. 建 設 改 良 費		353	537	507	788	635	912
	2. 企 業 債 償 還 金		1,196	2,090	4,532	1,164	1,081	1,095
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金							
	4. そ の 他		198	188	44	30	237	61
差 引	支出計 (B)		1,747	2,815	5,083	1,982	1,953	2,068
	差引不足額 (B)－(A) (C)		951	829	790	817	824	618
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金		950	828	789	816	823	617
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額							
	3. 繰 越 工 事 資 金							
補 て ん 財 源	4. そ の 他		1	1	1	1	1	1
	計 (D)		951	829	790	817	824	618
	補てん財源不足額 (C)－(D) (E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)								
実質財源不足額 (E)－(F)			0	0	0	0	0	0

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度		23年度 (見込)
				計画	実績	
収 益 的 収 支	() 912,450	() 1,073,654	() 967,246	() 965,877	() 865,802	() 817,518
資 本 的 収 支	() 461,350	() 396,909	() 457,431	() 391,353	() 374,943	() 483,583
合 計	() 1,373,800	() 1,470,563	() 1,424,677	() 1,357,230	() 1,240,745	() 1,301,101

(注)

()内はうち基準外繰入金額

- この計画は市立病院の経営に関するもので、附帯事業の介護老人保健施設を含みません。
- 平成19年度及び平成22年度の特別損失は、旧高松分院の資産除却によるものです。